

設計図書内「独自代価」における諸雑費の端数処理方法について

上越市ガス水道局において設定している「独自代価」の工種について、「諸雑費」の端数処理方法については以下のとおり。

①代価表(歩掛表に率でない諸雑費があるもの)

単位数量当りの代価表の合計金額が、有効4桁となるように端数を計上する。

②代価表(歩掛表に諸雑费率があるもの)

単位数量当りの代価表の合計金額が、有効4桁となるように原則として所定の諸雑费率以内で端数を計上する。一部、歩掛表の途中で計上するものもある。

以下の「諸雑費コード表」のとおり計上している。

諸雑費コード表

工種コード	名 称	諸 雑 費 率 表 記	諸雑費コード	端数処理
SX0501	鋼管切断工(エンジンカッター)	労務費×5%以内	Z1000Z2	有効4桁
SX0612	穿孔取出(铸铁管)	労務費×5%以内	Z1000Z2	有効4桁
SX0613	穿孔取出(鋼管・PE管)	労務費×5%以内	Z1000Z2	有効4桁
SY0301	X線検査工(ガス)	(機械+消耗費+労務費)×10%	Z1000Z3	有効4桁
SX0604	漏洩・漏水防止金具打工	労務費×1%以内	Z1000Z5	有効4桁
SX0303	保護管設置工	労務費×1%以内	Z1000Z5	有効4桁
SX0905	ガスパーシブ工(低圧)	労務費×20%	Z4002Z0	有効4桁
SX0905	ガスパーシブ工(中圧)	労務費×20%	Z4002Z0	有効4桁
SX0302	塗覆装工(熱収縮チューブ)	φ 50-100:5%, φ 150-500:6%, φ 600以上:8%	Z4002Z2	有効4桁
SX0625	電気溶接工	労務費×2%	Z4002Z6	有効4桁
SX0614	ターミナル取付工	労務費×2%	Z4002Z6	有効4桁
SX0903	デテクター検査費	労務費×20%	Z4002Z7	有効4桁
SX0902	管内清掃工(ビグ清掃)	材料費×0.1%	Z4002Z8	切捨円止
SX2000	遮断バイパス工事(PE管)	材料費×0.1%	Z4002Z8	切捨円止
SX2005	遮断バイパス工事(鋼管低圧用)	材料費×0.1%	Z4002Z8	切捨円止
SX2005	遮断バイパス工事(鋼管中圧用)	材料費×0.1%	Z4002Z8	切捨円止
SX2010	遮断バイパス工事(铸铁管)	材料費×0.1%	Z4002Z8	切捨円止
SX4000	遮断工事(PE管)	材料費×0.1%	Z4002Z8	切捨円止
SX4005	遮断工事(鋼管)	材料費×0.1%	Z4002Z8	切捨円止
SX4010	遮断工事(铸铁管)	材料費×0.1%	Z4002Z8	切捨円止
SX0904	耐圧気密検査費	(材料費+資材運搬+労務費)×20%	Z4002Z9	有効4桁
SX0904	気密検査費(低圧)	(材料費+資材運搬+労務費)×20%	Z4002Z9	有効4桁

(700008-0)

本 工 事 費 総 括 表

工種：開削工事及び小口径推進工事等

費 目	工 種	種 別	細 別 / 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
直接工事費				式	1			
共通仮設費								
	共通仮設費率計算額			式	1			
	共通仮設費 積上額計			式	1			
		運搬費		式	1			
			水道運搬費	式	1			第5号明細表, A1000//1
純工事費								
	現場管理費			式	1			
		現場管理費率計算額		式	1			
工事原価								
	一般管理費等			式	1			
		一般管理費率計算額		式	1			

(700008-0)

本 工 事 費 総 括 表

工種：開削工事及び小口径推進工事等

費 目	工 種	種 別	細 別 / 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
		契約保証費		式	1			
工事価格								
	消費税相当額			式	1			
本工事費								

「週休2日適用工事」における補正係数を用いた諸経費率の算出方法について

令和8年4月以降

間接工事費

共通仮設費率の端数処理について

共通仮設費率(補正前) 算定式 $Kr = A \cdot P^b$

ただし、Kr: 共通仮設費率(%) ※小数第3位を四捨五入し、第2位とする

P: 対象額(円)

A・b: 変数値(工種区分により決まる係数)

共通仮設費率(週休2日補正後) = (共通仮設費率(補正前) × 施工地域補正係数) × 週休2日補正係数

※共通仮設費率の補正にあたっては、補正前の共通仮設費率(Kr)に施工地域補正係数を乗じて小数第3位を四捨五入し、第2位とし、さらに週休2日補正係数を乗じて小数第3位を四捨五入し、第2位とする。

現場管理費率の端数処理について

現場管理費率(補正前) 算定式 $Jo = A \cdot Np^b$

ただし、Jo: 現場管理費率(%) ※小数第3位を四捨五入し、第2位とする

Np: 対象純工事費(円)

A・b: 変数値(工種区分により決まる係数)

現場管理費率(週休2日補正後) = (現場管理費率(補正前) × 施工地域補正係数) × 週休2日補正係数

※現場管理費率の補正にあっても、補正前の現場管理費率(Jo)に施工地域補正係数を乗じて小数第3位を四捨五入し、第2位とし、さらに週休2日補正係数を乗じて小数第3位を四捨五入し、第2位とする。

◎留意事項

設計額算出時の週休2日に係る補正対象は、労務費・市場単価・標準単価・間接工事費率とする。

労務費の補正対象は、公共事業労務費調査対象の51 職種及び電気通信技術者、電気通信技術員、機械設備据付工、技術者(下水道)に加え、ステンレス溶接工及びガスX線検査工の一部単価(X線検査 技術員・補助)とする。

ただし、ステンレス溶接工及びガスX線検査工の一部単価(X線検査 技術員・補助)は、週休2日補正後の労務単価を見積徴取しているため、週休2日補正係数は乗じないものとする。

また、水道X線検査工の一部労務費(技師A及び技師B)は補正対象外とする。

予定価格算出にあたっては、上越市ガス水道局「週休2日適用工事(現場閉所)」(令和8年4月)実施要領【土木工事】を確認し算出すること。

労務費	単価根拠	補正の有無	補正の方法
51 職種及び電気通信技術者、 電気通信技術員、機械設備据付工、 技術者(下水道)	県単価	有	補正係数を乗じる
ステンレス溶接工、 X線検査 技術員、X線検査 補助	見積	有	見積額に含む
技師A、技師B	県単価	無	—

間 接 工 事 明 細 書 (当初)

週休2日補正有
月単位令和8年度(春)
R 8 年度[春]
適用地区： 上越⑤基準適用
単価適用

計 算 根 拠 式

$$\begin{aligned} \text{率計算額} &= \text{対象額} \times (\text{標準率} \times \text{地域補正}) \times \text{係数} \\ &= \quad \times (\quad \% \times \quad) \times \end{aligned}$$

週休2日補正係数 ○
地域補正係数共通仮設費
(率計算額)

$$\begin{aligned} \text{対象額} &= \text{直接工事費} - (\text{管材費} / 2) + \text{支給品費} - (\text{管材費} (\text{支給品費}) / 2) \\ &\quad + \text{無償貸付機械等評価額} + \text{事業損失防止施設費} + \text{処分費} (\text{準備費}) - \text{処分費控除額} \\ &\quad + \text{加算額} - \text{減算額} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} &= \quad - (\quad / 2) + \quad - (\quad / 2) \\ &\quad + \quad + \quad + \quad - \quad - (\quad / 2) \\ &\quad + \quad - \end{aligned}$$

処分費控除額＝

$$\text{処分費等} (\text{直工} + \text{準備}) \div \text{対象額} = \text{構成比} < > 3\%$$

$$\div \quad = \quad \% < > 3\%$$

施工地域・工事場所区分	補 正 係 数
一般交通影響あり①	
一般交通影響あり②	○
市街地	
山間僻地及び離島	

$$\begin{aligned} \text{率計算額} &= \text{対象額} \times (\text{標準率} + \text{補正率}) \times \text{係数} \\ &= \quad \times (\quad \% + \quad \%) \times \end{aligned}$$

現場環境改善費補正率 %

現場環境改善費
(率計算額)

$$\begin{aligned} \text{対象額} &= \text{直接工事費} - (\text{管材費} / 2) - \text{処分費等} (\text{直工}) + \text{支給品費} \\ &\quad - (\text{管材費} (\text{支給品費}) / 2) + \text{無償貸付機械等評価} + \text{加算額} - \text{減算額} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} &= \quad - (\quad / 2) - \quad + \quad + \quad \\ &\quad - (\quad / 2) + \quad + \quad - \end{aligned}$$

週休2日補正係数 ○
地域補正係数

$$\begin{aligned} \text{率計算額} &= \text{対象純工事費} \times (\text{標準率} \times \text{地域補正} + \text{冬期補正率}) \times \text{係数} \\ &= \quad \times (\quad \% \times \quad + \quad \%) \times \end{aligned}$$

現場管理費
(率計算額)

$$\begin{aligned} \text{対象純工事費} &= \text{純工事費} - (\text{管材費} / 2) + \text{支給品費} - (\text{管材費} (\text{支給品費}) / 2) \\ &\quad + \text{無償貸付機械等評価額} - \text{処分費控除額} + \text{加算額} - \text{減算額} \\ &= \quad - (\quad / 2) + \quad - (\quad / 2) \\ &\quad + \quad - \quad + \quad - \end{aligned}$$

施工地域・工事箇所区分	補 正 係 数
一般交通影響あり①	
一般交通影響あり②	○
市街地	
山間僻地及び離島	

冬期補正率 %

$$\begin{aligned} \text{率計算額} &= \text{対象工事原価} \times (\text{標準率} \times \text{前払補正率}) \times \text{係数} - \text{端数調整額} \\ &= \quad \times (\quad \% \times \quad) \times \quad - \end{aligned}$$

前払補正率

一般管理費
(率計算額)
契約保証費

$$\begin{aligned} \text{契約保証費} &= \text{対象工事原価} \times \text{契約保証補正} \\ &= \quad \times \quad \% \end{aligned}$$

前払金支出割合区分	0%から5%以下	5%超15%以下	15%超25%以下	25%超35%以下
補正係数				

※35%超40%以下 (補正なし)の場合 ○

契約保証補正率 %

$$\begin{aligned} \text{対象工事原価} &= \text{工事原価} - \text{処分費控除額} + \text{加算額} - \text{減算額} \\ &= \quad - \quad + \quad - \end{aligned}$$

保証の方法	補正值(%)
金銭的保証	○
役務的保証	

(700008-0)

直接工事費内訳書

工種：開削工事及び小口径推進工事等

費 目	工 種	種 別	細 別 / 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
本設給水管工事								Y10201//1
	材料費		本設給水管工事 N=8件	式	1			第1号明細表, AZ0203//3
	布設費		本設給水管工事 N=8件	式	1			第2号明細表, AZ0203//2
	土木費		本設給水管工事 N=8件	式	1			第3号明細表, AZ0203//1
水道直接仮設費								Y3000//2
	水道交通誘導員			式	1			第4号明細表, A3100//1
直接工事費計								

(700008-0)

第1号明細表の1 AZ0203-0000-03							種別： 本設給水管工事 N=8件 形状： 備考：	
名 称		規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
ナット分水栓JWWA規格: 鋳鉄管石綿管用		150*20mm: 密着コア付	個	6			E060151 見積	
丙止水栓 JWWA規格 蝶形ハンドル		φ 20 伸縮逆ボネ弁 (スプリング式)	個	7			E150021 見積	
メーター丙止水栓用ナット・パッキン・シュモク		φ 13	個	5			EA10013 見積	
芯金入り分水栓用パッキン		φ 20	個	7			EF10020 見積	
量水器用閉栓プラグ 上水規格緑 (青色)		φ 20	個	2			EG10020 見積	
ポリエチレン管耐震型金属継手ロングベント: 60°		φ 20 回転式	個	7			L2D1020 見積	
ポリエチレン管耐震型金属継手分止水栓ナット		φ 20 回転式: 芯金入りパッキン付	個	7			L2F1020 見積	
水道用PE管		20 (1-2層)	m	38			L010020 刊行物	
砲金キャップ		30mm	個	1			V930030 見積	
HIVP		20mm	m.	25			V210020 刊行物	
HIVP		25mm	m.	0.3			V210025 刊行物	
HI チーズ		20mm	個	4			V270020 刊行物	

(700008-0)

第1号明細表の2 AZ0203-0000-03							種別： 本設給水管工事 N=8件 形状： 備考：	
材料費 1式当り明細表								
名	称	規	格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
HI	エルボ°	20mm		個	10			V290020 刊行物
HI	エルボ°	25mm		個	1			V290025 刊行物
HI	ソケット	20mm		個	14			V250020 刊行物
HI	ソケット	25mm		個	1			V250025 刊行物
HI	キャップ°	20mm		個	4			V2H0020 刊行物
HI	違径ソケット:2段落	20*13mm		個	5			V260020 刊行物
量水器	ボックス	(FRP) φ 13		組	5			H050000/20 見積
メーター	用片落管	φ 20×13		個	5			F1000//1 見積
標示杭		L=600		本	2			TZ0470 見積
合	計			式	1			
単	位	当	り		1			

(700008-0)

第2号明細表の1 AZ0203-0000-02							種別： 本設給水管工事 N=8件 形状： 備考：	
名 称		規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
機械継手工		φ 20mm	箇所	14			第1号表, SX0603//1 独自代価	
ポリエチレン管据付工		φ 20mm	m	38			第2号表, SS0350//1 水道事業実務必携	
ポリエチレン管切断工		φ 20	口	7			第3号表, SS0457//1 水道事業実務必携	
硬質塩化ビニル管据付工		φ 20mm	m	25			第4号表, SS0320//1 水道事業実務必携	
硬質塩化ビニル管据付工		φ 25mm	m	0.3			第5号表, SS0320//2 水道事業実務必携	
T S 継手工		φ 13mm	口	5			第6号表, SS0330//1 水道事業実務必携	
T S 継手工		φ 20mm	口	69			第7号表, SS0330//2 水道事業実務必携	
T S 継手工		φ 25mm	口	4			第8号表, SS0330//3 水道事業実務必携	
硬質塩化ビニル管切断工		φ 20	口	19			第9号表, SS0455//1 水道事業実務必携	
硬質塩化ビニル管切断工		φ 25	口	1			第10号表, SS0455//2 水道事業実務必携	
小口径鋼管継手工		ねじ込み接合 φ 20mm	口	7			第11号表, SS0220//2 水道事業実務必携	
小口径鋼管継手工		ねじ込み接合 φ 32mm	口	1			第12号表, SS0220//1 水道事業実務必携	

(700008-0)

第2号明細表の2 AZ0203-0000-02							種別： 本設給水管工事 N=8件 形状： 備考：	
名 称		規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
バルブ設置工(人力)		φ 20mm	基	7			第13号表, SX0605//1 独自代価	
分水栓建込工		配管呼び径 φ 20 本管呼び径鋳鉄管 φ 150	箇所	6			第14号表, SS0710//1 水道事業実務必携	
コア取付け工		呼び径 φ 20	箇所	6			第15号表, SS0715//1 水道事業実務必携	
埋設表示シート布設（水道管）		(リサイクル品)	m	38			第16号表, SX0619//1 複合代価(水道事業実務必携)	
管明示テープ工(水道・ポリエチレン管用)		φ 50×5m以下 胴巻4箇所 天端明示無し	m	38			第17号表, SY1220//1 複合代価(水道事業実務必携)	
ロケティングワイヤー(ポリエチレン管)			m	38			第18号表, SS1230//1 水道事業実務必携	
保護管設置工		φ 50 HI-VP（保護管）	m	14			第19号表, SX0303//1 独自代価	
量水器取付工(ねじ込み接合)		φ 13 普通型 量水器筐取付含む	箇所	5			第20号表, SS0750//2 水道事業実務必携	
硬質塩化ビニル管切断工		φ 20	口	14			第9号表, SS0455//1 水道事業実務必携	
硬質塩化ビニル管切断工		φ 25	口	2			第10号表, SS0455//2 水道事業実務必携	
小口径鋼管継手取外し工		ねじ込み接合 φ 32mm 再利用有り	口	1			第21号表, SY0220//2 水道事業実務必携	
合 計			式	1				

(700008-0)

第2号明細表の3
AZ0203-0000-02

布設費 1式当り明細表

種別： 本設給水管工事 N=8件
形状：
備考：

[illegible]

(700008-0)

第3号明細表の1 AZ0203-0000-01							土木費 1式当り明細表		種別： 本設給水管工事 N=8件 形状： 備考：	
名 称		規 格		単位	数 量	単 価	金 額	摘 要		
人力積込		土砂		m3	3			第22号表, SP12080//1 県積算基準		
床掘り 土砂		現場制約あり		m3	5			第23号表, SP12110//1 県積算基準		
舗装版切断 アスファルト舗装版		舗装厚:15cm以下		m	50			第24号表, SP1D210//1 県積算基準		
舗装版切断 コンクリート舗装版		舗装厚:15cm以下		m	20			第25号表, SP1D210//2 県積算基準		
バックホウ掘削積込		BH クローラ型 山積0.28m3排ガス2次		m3	33			第26号表, SS1000//1 水道事業実務必携		
舗装版取り壊し積込工		0cm超え10cm以下 BH クローラ山積0.28m3排ガス2次		m2	17			第27号表, SS1040//1 水道事業実務必携		
路床工(洗砂)		人力投入 1層max仕上厚20cm		m3	2			第28号表, SX1001//1 複合代価(県積算基準)		
路床工(流用土)		人力投入 1層max仕上厚20cm		m3	2			第29号表, SX1001//2 複合代価(県積算基準)		
路床工(洗砂)		山積0.28m3 1層max仕上厚20cm		m3	5			第30号表, SX1300//1 複合代価(水道事業実務必携)		
路床工(再生クラッシュランRC-40)		山積0.28m3 1層max仕上厚20cm		m3	1			第31号表, SX1300//4 複合代価(水道事業実務必携)		
路床工(改良土40(改良土E))		山積0.28m3 D I D区域外 0.5km 4t積 1層max仕上厚20cm		m3	9			第32号表, SX1300//2 複合代価(水道事業実務必携)		
路床工(流用土)		山積0.28m3 1層max仕上厚20cm		m3	13			第33号表, SX1300//3 複合代価(水道事業実務必携)		

(700008-0)

第3号明細表の2 AZ0203-0000-01							種別： 本設給水管工事 N=8件 形状： 備考：	
名 称		規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
産廃運搬処理 アスファルト殻運搬工		バックホウ 山積0.28m3 4t積 L=4.5km D I D区域外 廃材プラント (0)	m3	2			第34号表, SXG0020//1 複合代価(県積算基準・水道事業実務必携)	
産廃運搬処理 コンクリート殻(無筋)運搬工		バックホウ 山積0.13m3 2t積 L=4.5km D I D区域外 廃材プラント (0)	m3	0.3			第35号表, SXG0020//2 複合代価(県積算基準・水道事業実務必携)	
発生土処理		バックホウ 山積0.28m3 4t積 L=19km 改良分 D I D区域外	m3	9			第36号表, SXG0030//1 複合代価(県積算基準・水道事業実務必携)	
発生土処理		バックホウ 山積0.28m3 4t積 L=19km 発生土処分先(E) D I D区域外	m3	11			第37号表, SXG0030//2 複合代価(県積算基準・水道事業実務必携)	
発生土処理		人力 2t積 L=27.5km 発生土処分先(E) D I D区域外	m3	3			第38号表, SXG0030//3 複合代価(県積算基準・水道事業実務必携)	
下層路盤工		仕上り厚 15cm 1層(幅1.8m未満) 再生クラッシャーラン RC-40	m2	3			第39号表, SY1050//2 水道事業実務必携	
上層路盤工		仕上り厚 17cm 2層(幅1.8m未満) 粒調碎石 M-40	m2	17			第40号表, SY1050//3 水道事業実務必携	
下層路盤工		仕上り厚 20cm 1層(幅1.8m未満) ARC 40 (RC混合)	m2	17			第41号表, SY1050//5 水道事業実務必携	
表層工(人力施工)		粗粒度アスコン (20) 瀝青材散布なし 小型車 仕上厚5cm 車道及び路肩 砂無	m2・1層	17			第42号表, SY1070//1 水道事業実務必携	
構造物とりこわし工		無筋構造物 時間制約無 夜間無 人力施工 対策無 月単位	m3	0.3			第43号表, SYS0361//2 県積算基準	
コンクリート 無筋・鉄筋構造物		人力打設18-8-25(20) W/C≤65% (高炉) 一般養生 小運搬無	m3	0.3			第44号表, SPZ5010//2 県積算基準	
路面切削		全面切削6cm以下(4000m2以下) 段差すりつけ撤去:無し	m2	250			第45号表, SP1D010//1 県積算基準	

(700008-0)

第3号明細表の3 AZ0203-0000-01				土木費 1式当り明細表		種別： 本設給水管工事 N=8件 形状： 備考：	
名 称		規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
表層(車道・路肩部) タックコート PK-4		1. 4m以上3. 0m以下 50mm 密粒度アスコン(新20FH) 小型車補正有り	m2	250			第46号表, SPZB130//2 県積算基準
バックホウ掘削積込		BH クローラ型 山積0. 28m3排ガス2次	m3	0. 8			第26号表, SS1000//1 水道事業実務必携
舗装版取り壊し積込工		0cm超え10cm以下 BH クローラ山積0. 28m3排ガス2次	m2	20			第27号表, SS1040//1 水道事業実務必携
アスファルト切削廃材運搬処理		運搬距離4km DID区間無し 廃材プラント (0)	m3	13			第47号表, SX1765//1 複合代価(県積算基準)
産廃運搬処理 アスファルト殻運搬工		バックホウ 山積0. 28m3 4t積 L=4. 5km D I D区域外 廃材プラント (0)	m3	1			第34号表, SXG0020//1 複合代価(県積算基準・水道事業実務必携)
発生土処理		バックホウ 山積0. 28m3 4t積 L=19km 発生土処分先(E) D I D区域外	m3	0. 8			第37号表, SXG0030//2 複合代価(県積算基準・水道事業実務必携)
不陸整正工		仕上り厚1cm(幅1. 8m未満) 粒調碎石 M-40	m2	20			第48号表, SY1060//1 水道事業実務必携
基層工(人力施工)		粗粒度アスコン (20) プライムコート 小型車 仕上厚5cm 車道及び路肩 砂無	m2・1層	20			第49号表, SY1070//2 水道事業実務必携
表層工(人力施工)		粗粒度アスコン (20) タックコート 小型車 仕上厚5cm 車道及び路肩 砂無	m2・1層	15			第50号表, SY1070//3 水道事業実務必携
表層工(人力施工)		密粒度アスコン (新20FH) タックコート 小型車 仕上厚5cm 車道及び路肩 砂無	m2・1層	5			第51号表, SY1070//4 水道事業実務必携
区画線ペイント式設置工(塗料白色)		溶剤型 実線 15cm 加熱式ペイント 月単位 未供用無 制約無 夜間無 豪雪有	m	2			第52号表, SYS0041//1 県積算基準
区画線ペイント式設置工(塗料白色)		溶剤型 破線 15cm 加熱式ペイント 月単位 未供用無 制約無 夜間無 豪雪有	m	46			第53号表, SYS0041//2 県積算基準

(700008-0)

第3号明細表の4
AZ0203-0000-01

土木費 1式当り明細表

種別： 本設給水管工事 N=8件
形状：
備考：

名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
舗装版切断 アスファルト舗装版	舗装厚：15cm以下	m	110			第24号表, SP1D210//1 県積算基準
合 計		式	1			
単 位 当 り			1			

(700008-0)

第4号明細表
A3100-0000-01

水道交通誘導員 1式当り明細表

種別：
形状：
備考：

名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
交通誘導警備員 B	実働8時間(交替要員無し)	人	20			R4400 県単価(RR0804)
合 計		式	1			
単 位 当 り			1			

(700008-0)

第5号明細表
A1000-0000-01

水道運搬費 1当り明細表

種別：
形状：
備考：

名	称	規	格	単位	数	量	単	価	金	額	摘	要
貨物自動車等による運搬(基本運賃)		質量20t以上の建設機械 20kmまで 路面切削機 2.0m		回	2						第73号表, SD9109//1 水道事業実務必携	
合	計				1							
単	位				1							